

「聖公会」の意味をその漢字から考えると、「聖なる公(おおやけ)の(教)会」ということになります。それでは「聖」とはどのような意味を持つのでしょうか。

「聖」というと、純粋で清らかなものというイメージがありますが、そもそもの語源は「分離」です。神さまの領域と人とは分け隔てられ、人は神を畏れ、神的存在に出会ってしまったら死んでしまうと思っていました。

イエス様の時代に活動していたファリサイ派も、その語源は「分離する」です。彼らは罪人や異邦人などと自分たちを分け隔て、自分たちは「聖」に属するもの、そして他の人たちは「俗」とし、決して交わることはありませんでした。民族や宗教を存続させるために、これらの概念が必要だったのかもしれませんが。

ところがイエス様はその働きの中で、人々が罪人だと定め、関わろうとしなかった人々と関わり、一緒に食事をされました。そして十字架上で息を引き取られた瞬間、「神殿の垂れ幕が上から下まで真っ二つに裂け(マタイ 27:51)」ます。「聖」と「俗」とを分け隔てる象徴だった幕が、神さまによって引き裂かれたのです。

このことは、「聖」と「俗」との間にあった溝が、イエス様の十字架によって埋められたことを示します。このことによって、わたしたちが自分の力で「聖なる者」となるのではなく、神さまの力によって「聖なる者」とされるという神さまのみ心が示されたのです。

わたしたちの教会はどうでしょうか。イエス様が来られる前と同じように、「聖」と「俗」を知らず知らずのうちに分けてはいないでしょうか。自分たちだけが「聖なる者」だと、勘違いしてませんか。ご一緒に考えていきたいと思います。

次回は「聖餐」です。お楽しみに。



「十字架降架」

ファン・デル・ウェイデン

(1399~1464年)

あなたがたの中にはそのような者もいました。しかし、主イエス・キリストの名とわたしたちの神の霊によって洗われ、聖なる者とされ、義とされています。

(コリントの信徒への手紙一 6章 11節)

